

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	生活環境部市民生活課	直通電話	72-3191	事業コード	601020108	課内	1	作成日	平成15年8月15日
	担当者		新潟 研一郎		担当課長			担当部長	吉田保雄

1 事業のアウトライン

1) 事業名	連合町内会連絡協議会補助事業	開始年度	H10	終了年度	未定								
		最近の事業内容見直し年度											
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">施策コード</th> <th style="width: 90%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>6010201</td> <td>市民参加システムの確立 / コミュニティ活動の推進</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	6010201	市民参加システムの確立 / コミュニティ活動の推進				
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目												
6010201	市民参加システムの確立 / コミュニティ活動の推進												
3) 個別計画での位置付け													

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	市民と市役所との協働によるまちづくりのため
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	石狩市と住民組織(町内会・自治会)の連絡調整の徹底 町内会等の住みよいまちづくり運動の推進
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	連合町内会への連絡調整及び、地区町内会振興事業への助成をはじめとして、以下に記載する各種事業を実施する連合町内会連絡協議会に対し、運営経費の補助を行なう。 市役所内に事務局を置き、事務局員を配置する。 関係行政機関・関係団体への意見反映、建議を行なう。 単位町内会の育成調和を図る。 目的達成のための調査研究を行なう。
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	特になし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	一時期、ライフスタイルの多様化により町内会活動などの地域コミュニティ活動が停滞していたが、地域の人間関係が希薄となってきたことからくる治安の悪化や、阪神大震災などの災害に見られる地域防災活動などの観点から、その機能や必要性が見直され、活動の重要性が増している。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	各連合町内会から選出された理事20名により、総会・理事会・三役会議で、自主的に事業を立案実施している。
7) 評価中間公表への市民意見	なし

3 事業に投入した行政資源

項 目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	3,908	4,130	4,130	3,717	連合町内会連絡協議会補助金	4,130
2) その他の間接経費(千円)		46	94			
3) 従事正職員の人件費(千円)	411	415	412			
総事業費(1~3の合計;千円)	4,319	4,591	4,636			
総事業費中の一般財源(千円)	4,319	4,591	4,636			
市民一人当たり一般財源使用額(円)	78	83	83			
事務に従事した正職員のべ人数	0.05人	0.05人	0.05人			
					H14主な特定財源の内訳	金額(千円)

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	
実施事業数(件)	目標値	8	8	10	7	目標値は事業計画により設定、単年度の目標値。
	実績値	10	10	10		
	達成率	125.0%	125.0%	100.0%		
地区町内会振興助成件数(件)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定	各団体からの申請に応じて助成するので、目標設定はできない。
	実績値	9	9	7		
	達成率					
北海道町内会連合会 共済制度利用者数 (人)	目標値	未設定	700	1,100	1,300	目標値は、前年度実績により設定。
	実績値	655	1,097	1,324		
	達成率		156.7%	120.4%		

5 事業の成果

事業名： 連合町内会連絡協議会補助事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
市からの周知依頼件数(件)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定	各単位町内会長あて文書、班への回覧の依頼件数で、市の事業の必要性に応じて変化するため、目標値設定はできない。	文書発送控
	実績値	42	50	46	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
町内会の要望取りまとめ数(件)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定	要望事項のある都度に取りまとめられるため、目標値設定できない。	文書控
	実績値	10	13	7	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
未加入町内会の市連協への加入促進(町内会)	目標値	84	79	81	80	目標値は市内にある単位町内会数、新設・合併などにより変動している。	単位町内会長名簿
	実績値	82	77	78	目標レベル		
	達成率	97.6%	97.5%	96.3%			
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	北海道町内会連合会共済制度の利用の結果に見られるように、各地区の単位町内会等との連絡調整が盛んに行なわれている。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	町内会の要望を市へ、市からの周知依頼を各町内会へと橋渡し役としての実績を持ち、地域の単位町内会の相談役として、加入促進活動も行っており、市民と市の協働、地域コミュニティの形成に寄与している。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	市民と行政との信頼関係を大切にすることにより、また、町内会への働きかけの上からも、市が一定程度関与する必要がある。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	町内会、各連合町内会ときめ細かい連携を図るなど、今後も町内会活動を活発にする上からも、現在の事業には一定の妥当性がある。				

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	B (前年度)
市民と市の橋渡し役として、町内会の調整機能も果たしており、市民と市の協働の構築に寄与している。		市連協の機能を十分発揮され、地域コミュニティの形成に寄与していただいた。		

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	今後とも調整役としての機能を果たす上からも、行政及び町内会の円滑な役割分担が必要と考える。
最終評価	町内会とは、それぞれの責任と負担のあり方について明確にし、新たな協働体制の確立を目指しておりますことから、連合町内会連絡協議会は、調整役としての機能が発揮されると考えております。

9 平成16年度の方向性

事業規模	* 担当課長	事業内容		
	最終評価	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向			
	現状維持	*		
	縮小方向			
	統合			
休・廃止				
上についての説明				

(付表)
補助・負担金等事業内容整理表

担当部課： 生活環境部市民生活課
事業名： 連合町内会連絡協議会補助事業

1 補助・負担相手方の概況

補助・負担金名称	連合町内会連絡協議会補助金
支出相手方(名称、代表者、構成員)	連合町内会連絡協議会 会長 佐藤豊治 9つの連合町内会により構成される。
活動(事業)目的	自治会の健全な発達と住民福祉の増進を図るとともに、住民自治組織の連絡協調を深め共通問題の研究協議及びその解決を図り、明るく住み良いまちづくりを目的とする。

2 補助・負担相手方の財政状況等

(単位:千円)

		H12決算		H13決算		H14決算		H15予算	
		全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象
歳出決算 (予算)状況	人件費	2,355	2,355	2,303	2,303	2,225	2,225	2,156	2,156
	管理費	434	294	593	460	634	547	591	306
	事業費	850	850	865	865	871	871	860	860
	研修事業費	249	249	337	337	322	322	80	80
	助成金	310	160	315	165	315	165	315	315
	繰越金	8	0	7	0	63	0		
	歳出合計	4,206	3,908	4,420	4,130	4,430	4,130	4,002	3,717
歳入決算 (予算)状況	連合町内会連絡協議会補助金	3,908	92.9%	4,130	93.4%	4,130	93.2%	3,717	92.9%
	負担金収入	61	市の補助 負担金への 依存度	64	市の補助 負担金への 依存度	64	市の補助 負担金への 依存度	64	市の補助 負担金への 依存度
	委託料収入	56		57		59		7	
	諸収入	181		169		177		214	
	歳入合計	4,206		4,420		4,430		4,002	
補助・負担 対象経費 の内容	全ての事業費								
補助・負担 金額の算 定方法	予算の範囲								

3 補助・負担相手方の活動状況

活動結果を示す指標名	H12実績	H13実績	H14実績	H15目標
実施事業数(件)(再掲)	10	10	10	7
地区町内会振興助成件数(件)(再掲)	9	9	7	未設定
道町連共済制度加入件数(件)(再掲)	655	1097	1324	未設定
未加入町内会の市連協への加入促進(再掲)	82	77	78	80
平成14年度 活動(事業)実績	(1)7町内会に対して、地区町内会振興事業助成を実施。(2)未加入町内会の対応。(3)市政懇談会の実施。(4)先進地視察研修の実施。(5)連合町内会役員研修会の実施。(6)敬老記念品配布事業への取り組み。(7)自主防災組織2町内会を組織化。(8)花と緑のまちづくり事業等の推進。(9)「住みよいまちづくり全道運動」の実施。(10)道町連共済制度に1,324名加入。			

4 特記事項

地区町内会振興助成事業として、単位町内会等の事業に対し補助を行なっている。
